

お知らせ

# 鹿児島医療生協のコロナ感染症 への対応について

鹿児島医療生協では職員の感染等による休職者の増加により、一時新規入院や一般・救急外来診療制限を実施せざるを得ない状況となりました。(現在は制限を解除し、通常診療を行っております。)

体調不良なのに診察が受けられないなど地域の皆様の要求に十分お応えできないケースも発生し、心よりお詫び申し上げます。

今後も組合員・患者の受療権を守り、つながる・寄り添う医療・介護を守るため発熱外来や入院受け入れなどコロナ感染拡大防止の取り組みを最優先で継続します。

皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 受診希望の皆様へ

○症状がある場合、かかりつけ医もしくは発熱外来の受診を案内しています。診断方法(PCR検査、抗原検査等)については事業所毎に異なります。予約制のため事前にご相談ください。かかりつけがない場合や迷う場合は、受診・相談センター(保健所)でも相談できます。

○無症状の方で診断を目的とする検査を希望される場合、無症状の方への検査は行っておりません。無料 PCR 検査の情報については鹿児島県のホームページでご確認下さい。

<https://www.pref.kagoshima.jp/a/e06/pcrjigyousya.html>



鹿児島医療生協の事業所では、以下のように発熱外来等で日々奮闘しています。各事業所の受診に関する情報は、ホームページ等をご確認下さい。

## コロナ対応に奮闘する 坂之上生協クリニック の一日



7:30 往診 診療準備

- 外来が始まる前に往診へ(院長&事務長)
- この日は施設の臨時での診察にも対応
- 前日の PCR 結果のTEL連絡(師長)

発熱外来の検査キットの準備や換気などできばきと準備をします。



8:45 午前の診療開始

- 一般の診療の患者さんも続々と受付に
- TELも鳴りっぱなしです。この日は 9 時過ぎには発熱外来の午前の枠がいっぱいに！

「濃厚接触者でも症状が無い場合はもう少し様子をみて」など状況をよく聞き取り丁寧に説明



○慢性疾患の患者さんが陽性になったら療養期間も考慮して定期薬の残なども確認するなど、ホームドクターならではのきめ細かい対応を行っています。

○めまいで来院した患者に点滴とあわせてコロナ検査をしたら陽性判明。「よくあること」とそのまま隔離し点滴継続と冷静に対応。今後、普通の地域の診療所がコロナを診ないといけない段階へ移行することを見据え臨機応変に対応しています。



発熱者が駐車場に到着したら1人で問診をとります。



真夏の駐車場はただでさえ暑いのに、さらにガウンが意外に暑くて大変です。



14:00～14:45  
午後診療



15:00～  
コロナワクチン接種

外来と発熱外来の合間に健診(胃カメラ)をしたり…



気になるデイケア利用者さんの対応をしたり…



- この日は最終的に患者数 70 名  
(往診 4 名、健診 3 名、予防接種 6 名)
- 発熱外来 16 名、陽性者 10 名、PCR 結果待ち 6 名
- コロナ自宅療養中の方へ処方 4 名
- 谷山の発熱外来がいっぱいで対応できない職員の検査等も臨時で対応

## こんな一幕も！



隣にお住まいの方から塀越しでコロナワクチンの予約が！

「数年前に主人が自宅で倒れた時、田上先生がすぐにかけてくれた。クリニックのおかげで安心」とのこと。近所の方がクリニックの庭木の手入れをして下さったり、電気をつけっぱなしだと電話で教えて下さったり。坂之上生協クリニックが地域の方々に頼りにされ、応援されているんだと実感できる一幕でした。

## 断らない姿勢・寄り添う姿勢をひしひしと感じた一日でした。

4 月から 9 月に在宅での看取りが 9 名。  
7 月にかかりつけ医だったため救急搬送を受け入れ、結果コロナ陽性だったことも。

近隣のグループホームの職員の方からは「施設で陽性者が出たとき、検査対応はもちろん、施設内の感染対策のアドバイスも。困ったときには事務長にすぐ1人でしゃいます。」とのこと。

「忙しさに殺伐とした気持ちになることもあるけれど、患者さんは皆不安な気持ちで来院している。その不安に寄り添い、できるだけのことをしたい」と橋口師長。

田上院長の患者を断らないという信念のもと、職員一丸となってそれをサポートし、その姿勢が地域の方々にもしっかりと伝わり、クリニックが安心のよりどころとなっています。